

# 留学生の夢の国！？

英語圏と非英語圏での、  
図書館を中心とした留学生サポート施策の比較調査

1

平成28年度大学図書館職員短期研修（東京会場）

第1班 小野令耶、筋田千春、高久桂、

西村美雪、廣瀬愛、松本侑子

テーマ1 海外調査研修計画を企画立案する

# 目次

- 1：海外研修の目的
- 2：候補地の選定
- 3：調査内容
- 4：期待できる効果

# 1：海外研修の目的

留学生／海外からの研究者に対する

サービスを「国際的に通用するレベル」に

⇒国際競争力を持った大学になる！

# 1：海外研修の目的

- 中央教育審議会大学分科会「中長期的な大学教育の在り方に関する第一次報告—大学教育の構造転換に向けて—」（平成21年6月）
  - 大学教育のグローバル化に積極的に取り組み、大学教育の構造転換を果たすことが求められる。
- 「グローバル化」「留学生を増やしたい！」という大学の意向

# 1：海外研修の目的

- 20年前と比べて留学生数は**3倍**に増加（日本学生支援機構・平成27年度発表）
- しかし、留学生へのサービスは十分とは言えない？
- サービスが不十分
  - ⇒留学生の満足度が低い
  - ⇒次の世代が来たいと思う国にならない
  - ⇒留学生数減につながる

# 1：海外研修の目的

（図書館カウンターにて）

海外から来た研究者

**「なんで君たちは英語ができないんだ！小学校・中学校・高校・大学...英語を勉強したんでしょ！！**

**（怒）**」

# 1：海外研修の目的

- 英語が話せれば解決する問題なの...？
- 海外からの学生・研究者に、今のサービスは本当に役立っているの？
- うちの留学生サービス「国際的に通用するの？」
- 英語以外の言語サポートは必要？

## 1：海外研修の目的

- ウェブサイトを見てみたけど、情報が載っていない！
- 「留学生が何を必要としているか」のホンは、直接聞かないとわからない！
- 英語圏／非英語圏で状況は違うのか？

## 2：候補地の選定

行先	アメリカ	ドイツ
訪問大学	協定校より選定 (自学と同規模の大学を選定する)	
調査費用	一人25万円×4名 (期間一週間、渡航費含む)	
調査メンバー	図書館職員1名 + 留学生担当事務職員1名 ×2か国	

## 2：候補地の選定

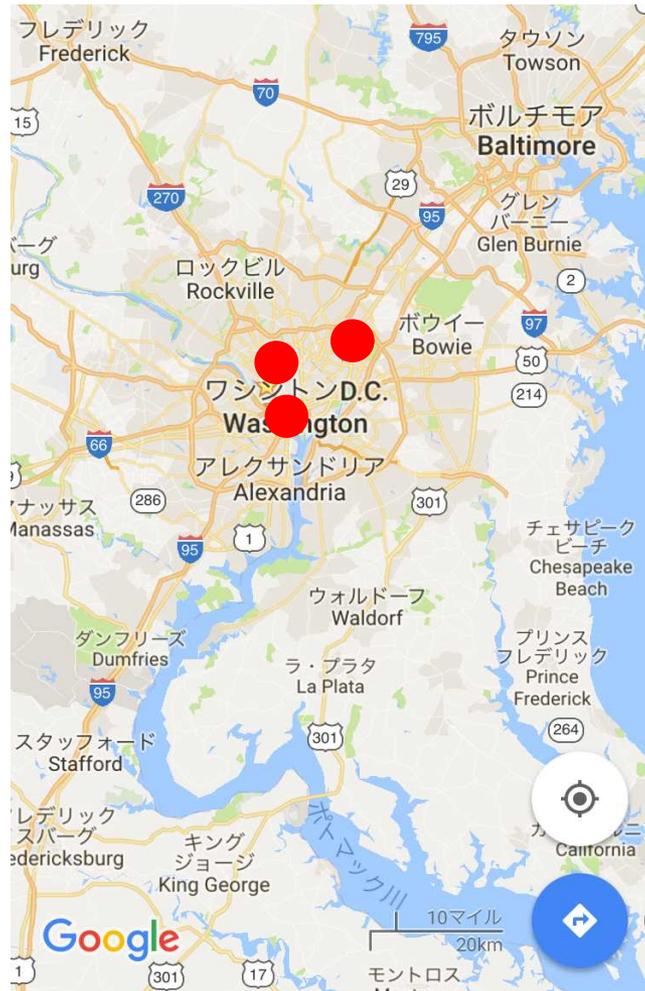
### 候補地選定の前に調査しておきたいこと

- **今いる学生（留学生）へのサポート**  
**送り出す／受け入れる側両面からのサポート法**  
⇒ **一方的に調査するだけでなく、**  
**訪問先へも有効な情報を**  
**フィードバックできるようにしておく**
- 留学生課など他部署からの情報収集
- 留学生のfacebookなどをチェックする

## 2：候補地の選定【訪問校の例】

### 【英語圏・アメリカ】

- ジョージタウン大学  
@ワシントンDC
- メリーランド大学  
@メリーランド州
- アメリカン大学  
@ワシントンDC

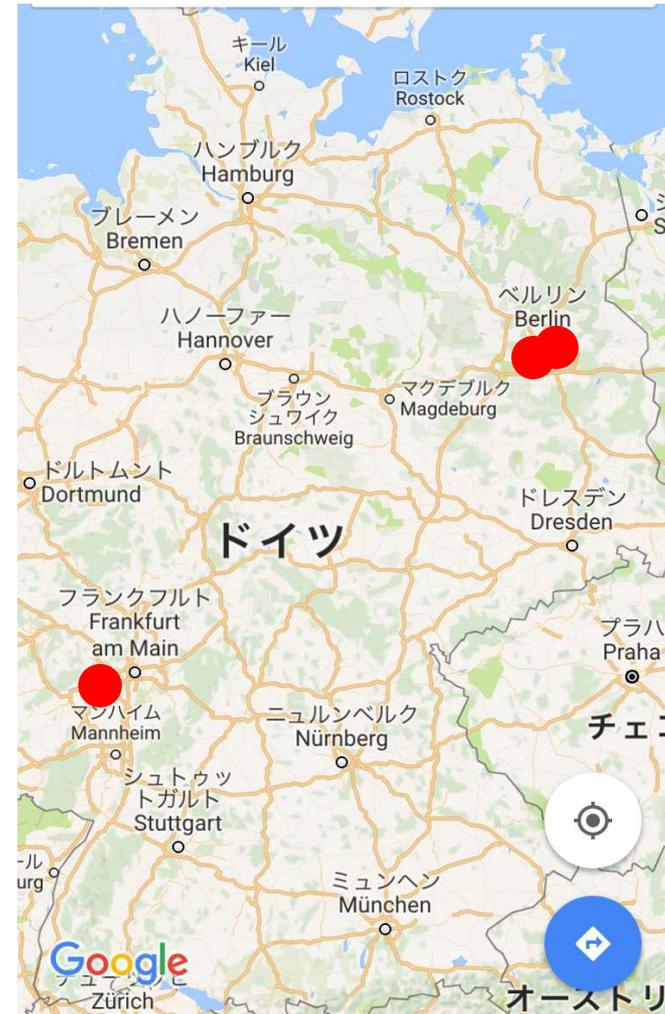


## 2：候補地の選定【訪問校の例】

### 【非英語圏・ドイツ】

- ベルリン自由大学
- フンボルト大学ベルリン
- ヨハネスグーテンベルク大学

※アメリカの調査を生かして  
ドイツの調査項目も考える



## 2：候補地の選定

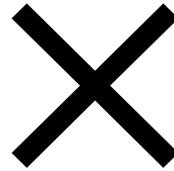
### その他、より効果的な選定のために

- 留学生課と協力したリサーチ
  - ⇒ 学生（現在留学中）の状況
  - ⇒ より規模の近い協定校の選定
  - ⇒ 学内他部署とうまく連携して、  
直接連絡できる学生を紹介してもらう
- 最近調査などで海外に行った教員に話を聞く

### 3：調査内容

言語サポート

文化サポート



- ★インタビュー
- ★資料収集
- ★見学

### 3 : 調査内容【内容】

## 言語サポート

## 文化サポート

施設利用案内

事前語学研修  
プログラム

機器利用  
マニュアル整備

多言語対応スタッ  
フ

図書館の利用方法  
（困っていること、  
助かっていること）

留学生用資料整備  
（何をどの言語で）

ライティングサポート

日常生活サポート窓口

授業サポート窓口

法律・  
学術的作法  
（引用など）

カウンセリング

## 3：調査内容【方法】

### インタビュー

- **担当者同士の情報交換会**
- 留学した学生（留学中の学生）に話を聞く
- 現地にいる外国人研究者に話を聞く

### 資料収集

- 案内サイン・配布物・マニュアル（多言語表示）

### 見学

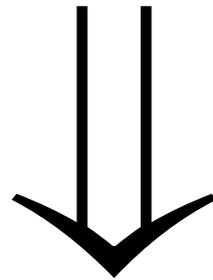
- ガイダンス参加
- 図書館内、キャンパス内見学

### 3：調査内容【事前調査】

- 留学生の割合（国別、言語別）
- Webサイトでのサポート・案内はあるのか？
- 現地の留学生への事前アンケート（メール等）
- 謝礼の慣習の調査

## 4：期待できる効果

自大学の  
留学生サービス改善



□□≡で留学生増加

## 4：期待できる効果

### すぐに出る効果

- 利用案内・サインの改善
- ガイダンスの改善、窓口対応の充実
- 協定校との交流がさらに活発に
- 留学生課と図書館との連携力アップ

## 4：期待できる効果

### 長期的な効果

- 留学生の満足度アップ⇒大学全体の活性化
- 留学生に選ばれる大学になる⇒研究の発展
- 図書館に行けば安心！と思ってもらおう  
(ほかの窓口につないでくれるハブに)

留学生・海外からの研究者にとっての

# 夢の国を目指して！

